

身近な地質スポット

二野鍋煎古墳(横穴墓)／可児市久々利

六世紀後半～七世紀末、今から約1500年ほど前に人工的に作られた洞穴式の古墳です。岩肌の斜面に洞穴状に墓室を穿って造られたもので、可児市久々利川水系に百基以上が確認されています。

この横穴墓は県指定史跡であり、普段はフェンスに囲まれ、近づくことは出来ません。一見地質とは関わりのなさそうなこの史跡、実は当該地域の地質的特徴と密接に関係しているのです。

岐阜県可児市を構成する地質は、第三紀中新世に形成された瑞浪層群を基底とし、上位に同紀鮮新世の土岐砂礫層、第四紀層となります。

当然1500年前には、現在のような掘削重機などはなく、花崗岩（墓石等）のような硬い岩盤を掘ることなど出来ません。

しかし、瑞浪層群は形成された時代が新しく（約500～2500万年前）、凝灰岩、凝灰質砂岩、凝灰質泥岩よりなり、サバと呼ばれる人力掘削が可能な岩盤です。

遠目には変色し削れそうに見えますが、所詮岩盤です、それなりに硬く地道な作業であったことでしょう。祖先がこつこつと時間をかけ、掘ったのだと思うと感慨深いスポットです。



県指定史跡

二野鍋煎古墳

古墳の説明が書かれた看板が設置され、古墳周囲はフェンスで囲まれています。

この地域の古墳分布図があり、ここを足がかりにあちこち回るのも一興です。



遠目からは2基が確認できますが、さらに北側にもう1基あります。大きさは6.2m×3.5mとこの地域では中規模なものです。

余談ですが、

この地質スポットの近くにはこんなお店がありました。

ラーメン・つけ麺 麺処 あさひ



麺処「あさひ」 岐阜県可児市広見 藤掛病院の北側
営業時間: 11時～23時
定休日: 不定休

自販機で食券を購入し注文するスタイルです。
若い店主が一つずつ丁寧にラーメンを作っていました。

並ぶ客は、外で待つのが決まりだとか。
運良く座れましたが、お昼時で混み合っていました。



おすすめの「まぜそば／大盛: ¥950」をいただきました。
ランチタイムは白飯がサービスです。

こだわりのスープ
「濃厚でコラーゲンたっぷりの味わいと、煮干し、鯖節等の魚介類の上品な味わいを追求している」そうです。

濃厚ですが、くどさがなく、最後までおいしくいただきました。